

グラングリーン大阪に本社移転

新虎興産 企業間連携でシナジー創出

変電機器などのリサイクル事業を展開する新虎興産（大阪市、木村高士社長、☎06・6467・8525）

は4月1日、本社を大型複合ビル「グラングリーン大阪パークタワー」（同市）に移転、稼働を開始した。西日本最大のターミナル駅であるJR大阪駅直結の最新のオフィスビルを拠点に、さらなる業務拡大や従業員モチベーションの向上、他社連携によるイノベーションの創出などを図る。今般移転したグラン

グリーン大阪は、公民連携で開発が進む都市



グラングリーン大阪外観

「みどり」と「イノベーション」と「イノベーション」の融合拠点をコンセプトに整備したもので、新産業の創出、国際交流、人材育成の促進を目指した施設となっている。なかでも、

新虎興産・新オフィス



イクルだけでなく、太陽光パネルリサイクルの技術開発など、最新の課題にも取り組む中で「より広い範囲への拡大を図るとともに、イノベーションによる協業・技術開発などを期待して、大阪の中

中核となるオープンイノベーション施設「ジヤムベース」は、企業、研究機関、スタートアップなどの人材交流を図り、民間・行政・経済団体が一体となった活動拠点を目指すという。

同社は1918年に創業し、大阪市を拠点として全国に活動範囲を広げてきた。現在は変電機器の撤去・リサ

心地への移転を決めた」と担当者は話す。すでに連携している

（公財）関西経済連合会の事務局も同施設に居しており、さらなる連携の加速とともに、他の入居企業とのシナジー効果を生み出す狙いだ。加えて、話題となつている最新施設にオフィスを置くことで、従業員のモチベーションの向上だけな